

神奈川県ニホンジカ保護管理事業 (H15~H18)

- 目標: 生物多様性の保全と再生
シカ個体群の存続
- 順応的管理
農林業被害の軽減
計画 事業 検証 修正
- エリア管理
3地域 & 56管理ユニット
- 新たな管理オプション
植生回復のための管理捕獲、
猟区でのメスジカ狩猟解禁、
広域獣害防止柵 など

天然林

人工林

農耕地

自然植生の回復

森林整備による生息環境整備

農林業被害軽減

地域個体群の存続

自然植生回復地域

生息環境管理地域

被害防除対策地域

当面のゴール

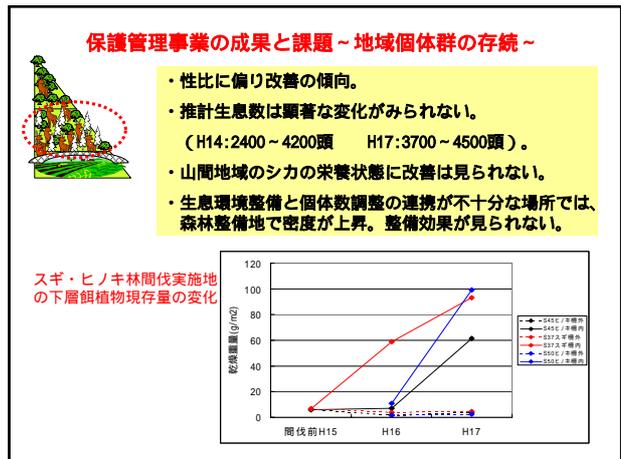
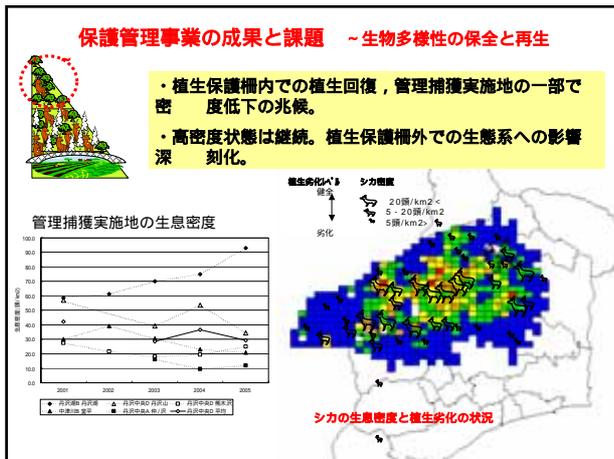
	個体数管理 (個体数調整の基数は下限値)	生息地管理	被害防除
自然植生回復地域	植生回復管理捕獲 (現状の5割、8割を目安)	植生保護柵の設置 (遺伝子資源の保存)	
生息環境管理地域	猟区でのメス狩猟解禁 (被害軽減)	森林整備による生息地改善	防鹿柵設置
被害防除対策地域	管理捕獲 メス捕獲推進	広域獣害防止柵設置	

個体数低減
・植生回復

中標高域の生息地確保

農林業被害の軽減

羽山原図



神奈川県ニホンジカ保護管理計画 (H15 ~ H18)

一定の成果は得られたものの、

- ・ 生態系への影響は深刻化。
- ・ 農林業被害の恒常化。
- ・ 山間のシカ個体群の栄養状態に改善が見られない。

↓

丹沢大山保全計画の改定と共に
第2次神奈川県ニホンジカ保護管理計画(H19 ~ 23)を策定

第2次神奈川県ニホンジカ保護管理計画 (H19 ~ 23)

1. 目標

生物多様性の保全と再生、農林業被害の軽減、丹沢山地でのシカ個体群の安定的存続、分布域の拡大による被害拡大防止

2. 目標を達成するための施策(基本事項)

保護管理区域(丹沢山地)と監視区域(丹沢山地以外)
保護管理区域に3ゾーニング&56管理ユニット

3. 地域別目標

<保護管理区域>

- ・ 自然植生回復地域: シカを低密度状態へ誘導。
- ・ 生息環境管理地域: シカの主な生息域として位置付け(生息環境整備と個体数調整を連携)
- ・ 被害防除対策地域: 農地周辺でのシカの定着解消。

<監視区域>

- ・ モニタリングにより監視。被害拡大の防止のため、有害捕獲、防護柵設置等を実施。

